

## 後方小旋回バックホー 尿素仕様 [13トン~14トンクラス]

Noxを大幅削減し、さまざまな省エネ機構により  
低燃費に貢献。

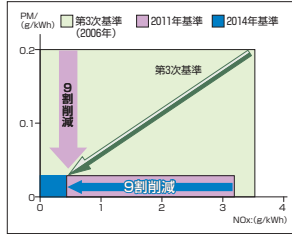


### 排出ガス規制の段階と強化



わが国の排出ガス規制は、環境保護を背景に段々と強化されてきました。  
2006年に環境省、経済産業省、国土交通省の3省共管の「特定特殊自動車排出ガスの規制に関する法律」(オフロード法)が施行され、その後、右図の2011年基準へと基準値が強化されました。

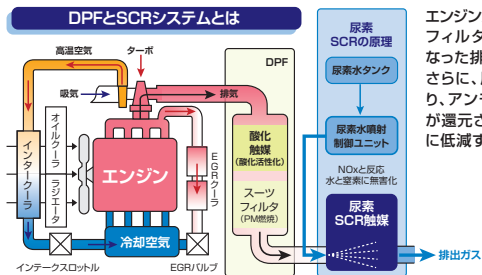
■ 建設機械の排出ガス規制(75kW以上130kW未満の場合)



型式編出特定特殊自動車用(改正基準に適合するもの)

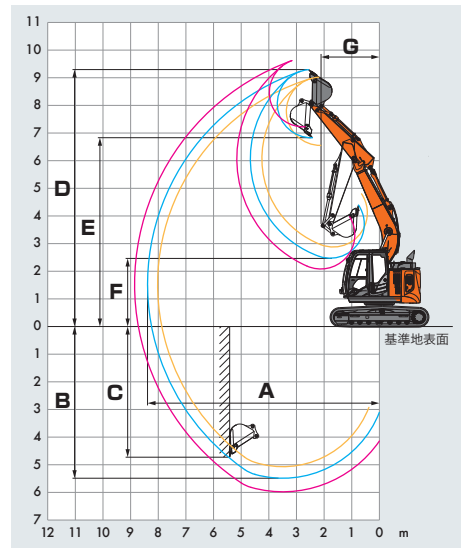
2011年基準ではPM(粒子状物質)の基準値は2006年基準に比べ9割削減。2014年基準ではNOx(窒素酸化物)の基準値は2011年基準に比べ9割削減した厳しいものとなっており、その排出ガス規制に対応するため、DPF等(2011年)、SCRシステム等(2014年)の排出ガス後処理装置が多く使われることになりました。

### 2014年排出ガス後処理装置装着車両の排出ガス浄化の仕組み(例)



エンジンから排出されるPMをスツツフィルタに捕集し、フィルタに堆積したPMは酸化触媒により、高温となった排出ガスにより燃焼されます。  
さらに、尿素水をSCRシステムに供給することにより、アンモニアが窒素酸化物と化学反応し、窒素と水が還元される仕組みを利用し、排気中のNOxを大幅に低減する技術です。

### ■ 作業範囲図 [ZX135US-6]



### ■ 仕様

メーカー	日立建機	コベルコ建機	コマツ	住友建機	日本キャタピラー	
型 式	ZX135US-6	SK135SR-5	PC138US-11	SH135X-7	314F	
バケット容量	m <sup>3</sup>	0.50	0.50	0.50	0.52	
A.最大掘削半径	mm	8,390	8,340	8,300	8,220	
B.最大掘削深さ	mm	5,490	5,520	5,480	5,440	
C.最大垂直掘削深さ	mm	4,730	4,890	4,900	4,910	
D.最大掘削高さ	mm	9,290	9,190	9,340	9,300	
E.最大ダンプ高さ	mm	6,830	6,740	6,840	6,870	
F.最小ダンプ高さ	mm	2,470	2,580	—	2,510	
G.最小フロント旋回半径	mm	2,110	2,000	1,980	1,950	
最大掘削力	kN	99.0	90.1	93.0	90.0	
エンジン						
エンジン型式	いすゞ AR-4JJ1X	いすゞ 4JJ1XDRA	コマツ SAA4D95LE-7	いすゞ AM-4JJ1X	CAT C4.4 ACERT	
定格出力	kw/min <sup>-1</sup>	74.9/2,000	73.9/2,000	72.5/2,050	74.9/2,000	68.0/1,800
	ps/rpm	102.0/2,000	100.5/2,000	98.6/2,050	94.0/2,000	92.0/1,800
走行部						
登坂能力	度	35	35	35	35	
輸送時寸法						
全長	mm	7,370	7,410	7,260	7,220	7,490
全幅	mm	2,490	2,490	2,490	2,490	2,490
全高	mm	2,870	2,850	2,850	2,790	3,030
機械質量	kg	13,700	13,900	13,400	13,900	13,300
燃料タンク容量	ℓ	220	190	200	200	180
尿素水タンク容量	ℓ	13.0	33.9	21.0	43.0	19.0
低騒音指定型		超低騒音	超低騒音	超低騒音	超低騒音	超低騒音
排出ガス対策型		オフロード2014年	オフロード2014年	オフロード2014年	オフロード2014年	オフロード2014年

お問い合わせは  
最寄りの営業所まで

■本社  
広島市安佐南区八木5丁目10-17  
TEL:082-873-6260

■広島営業所  
広島市安佐南区八木5丁目10-17  
TEL:082-873-1425

■広島西営業所  
広島市安佐南区伴中央3丁目2034-1  
TEL:082-830-1070